

ミツバ^{*1}(野菜類、セリ科葉菜類の登録農薬も使用できる)

薬剤名	作用 機構 分類 コード	人 畜 毒 性	使用 時期 (日 数)	使 用 回 数	ベ ト 病	灰 色 か び 病	菌 核 病	立 枯 病	根 腐 病	ア ブ ラ ム シ 類	タ ネ バ ム シ エ	ヨ ト ウ ム シ ウ	ハ ス モ ン ヨ ト ウ	キ ア ゲ ハ	ハ ダ ニ 類	ネ コ ブ セ ン チ ユ ウ
タチガレン液	32		*g 1						◎							
トップジンM水㊦	1		*g 2				◎									
モンカット水	7		30 1					水								
アミスター20FL	11		*g 1		◎											
ランマンFL	21		*h 2	◎												
ロブラール水	2		*c 2				軟									
			*d 1				軟									
リゾレックス水	14		90 2					◎								
			*j 1					水								
リゾレックス粉	14		*a 1					◎								
アリエッティ水	P7		*g 2	◎												
バリダシン液 5	U18		*e 3					◎								
			*f 1					◎								
ダコニール1000FL	M5		*b 3	◎												
スミブレード水	10・2		21 1		◎											
スピノエース顆水	5		*i 2									◎				
コロマイト乳	6		*h 2												◎	
ダイアジノン粒 5	1B		*a 1							◎						
ネマトリンエース粒	1B		*a 1													◎
トレボン乳	3A		*k 2							◎						
アドマイヤー顆水	4A	劇	*i 2							◎						
ダントツ溶	4A		3 3							◎						
モスピラン顆溶	4A	劇	*i 1							◎						
アフーム乳	6		*i 2									◎	◎	◎	◎	
コテツFL	13	劇	*g 1										◎			
カスケード乳	15		*i 2										◎	◎	◎	
マトリックFL	18		*i 2										◎			
ウララDF	29		*h 2							◎						

㊦：チオファネートメチル含有剤 ◎：ベノミル含有剤 ㊦を使用した場合には同じ作での◎は使用しないこと。その逆も同様（種子への処理および塗布処理を除く、詳細はP.856 参照）。

*1:ミツバ（みつば）…青みつば、切りみつば、根みつば

*a:播種前 *b:根株養成期(但し収穫75日前まで)

*c:根株養成期、地上部切り取り前(但し収穫35日前まで)

*d:伏込時(但し収穫30日前まで)

*e:移植後(但し収穫7日前まで、伏せ込み栽培は伏せ込み前まで)

*f:育苗期 *g:収穫14日前まで(但し伏せ込み栽培は伏せ込み前まで)

*h:収穫3日前まで(但し伏せ込み栽培は伏せ込み前まで)

*i:収穫7日前まで(但し伏せ込み栽培は伏せ込み前まで)

*j:育苗期(但し収穫40日前まで)

*k:収穫21日前まで(但し伏せ込み栽培は伏せ込み前まで)

水:水耕栽培 軟:軟化栽培

ミツバ*1 (野菜類、セリ科葉菜類の登録農薬も使用できる)

病害虫名	防除時期	防除方法	参考事項
べと病	根 株 養 成 期	・発生を見たら次の薬剤のいずれかを散布する。 アリエッティ水和剤 1000倍 ダコニール1000 (FL) 1000倍	
灰 色 か び 病	生育期	・発生を見たら次の薬剤のいずれかを散布する。 アミスター20フロアブル● 2000倍 スミブレンド水和剤● 2000倍	●耐性菌が生じる恐れがあるので連用しない。
立枯病	播種前	1. 連作を避け無病畑を選ぶ。 2. 発生圃場では次の薬剤を全面土壌混和する。 リゾレックス粉剤 20kg/10a	本病の病原菌はリゾクトニア菌であり、バセリ立枯病とは菌が異なる。
	生育期	・発生を見たら次の薬剤を株元灌注する。 リゾレックス水和剤 500倍 0.5L/m ²	
根腐病	播種前	・連作を避け無病畑を選ぶ。	本病はピシウム菌による。
	生育期	1. 発病株は早期に発見し、除去する。 2. 発生を見たら次の薬剤を散布する。 タチガレン液剤 2000倍	
菌核病	播種前	・連作を避け無病畑を選ぶ。	秋10～11月にかけて発生する。
	生育期	1. 発病株を早期に発見し、除去する。 2. 発生を見たら次の薬剤を散布する。 トップジンM水和剤㊟ 2000倍	
	軟化前	・根株を厳選し、無病株を軟化に用いる。	
てんぐ 巣 病 (ヒメフタテンヨコバイ)	育苗期	1. 播種後は寒冷紗被覆を行う。 2. 被害株は早期に抜きとる。	病原はファイトプラズマで、ヒメフタテンヨコバイが伝搬する。 7月頃に被害株が多発する。
アブラムシ類	生育期	・発生を見たら次の薬剤のいずれかを散布する。 ウララDF 2000～4000倍 モスピラン顆粒水溶剤 8000倍	
タネバエ	播種前	・播種前に次の薬剤を全面土壌混和する。 ダイアジノン粒剤 5 6kg/10a	

*1: ミツバ (みつば) …青みつば、切りみつば、根みつば

ミツバ*1（野菜類、セリ科葉菜類の登録農薬も使用できる）

病害虫名	防除時期	防除方法	参考事項
ヨトウムシ・ハスモンヨトウ・キアゲハ	生育期	・発生を見たら次の薬剤を散布する。 アフーム乳剤 2000倍	
ハダニ類	生育期	・発生を見たら次の薬剤のいずれかを散布する。 アフーム乳剤 2000倍 カスケード乳剤 2000倍 コロマイト乳剤 2000倍	
その他の病害虫		さび病、斑点病、変形菌病、モザイク病	

ミ
ツ
バ

*1:ミツバ（みつば）…青みつば、切りみつば、根みつば